



かわ
川でカエルが両足を広げて、下向きでういていたのは、なぜ

カエルは泳ぎの達人

たいていのカエルは、泳ぎの名人です。前足に比べて後ろ足が長く、ももやすねの筋肉が、とても発達しています。スピードを出して泳ぐときは、水かきのついた両後ろ足を、ぐつと縮め、両足をそろえて水をけり、水中にもぐりながら、ぐーんと体を前へのばして進みます。このとき、前足は後ろにのばして体のわきにつけ、体が前に進むのをじゃましないポーズを取っています。人間が、手を使わずに平泳ぎをするかっこうに似ています。

ゆっくり泳ぐときは、後ろ足を、たがいちがいに動かしながら、水面を進みます。

カエルが水面にいるときは、いつ敵が来ても、すぐにげ出せるように、後ろ両足を広げて、ういています。こうして、休んだりしているのです。ちょっと物音が聞こえたりすると、ぱっと動いて、水中に姿をかくします。

泳ぎがへたなカエルもいる

ヒキガエルのように、産卵のとき以外、ほとんど陸上でくらすカエルの足には、ほとんど、水かきがありません。泳ぎもへたです。

アマガエルやモリアオガエルのように、木や草の上で生活しているカエルは、水かきがあります。モリアオガエルは、後ろ足だけではなく、前足にも水かきがあります。これらのカエルは、水面をゆっくり泳ぎます。（監修・今泉 忠明）

トノサマガエルの泳ぎっぷり

